

平成29年度第2回県政参画電子アンケート
「鳥取県いじめの防止等のための基本的な方針」改定案
に関するアンケート

1 調査概要

- テーマ 「鳥取県いじめの防止等のための基本的な方針の改定」に関するアンケート
- 実施期間 平成29年6月16日(金)～6月26日(月)
- 対象 県政参画電子アンケート会員
- 回答数 765名(80.7%)

2 アンケート目的

この方針は、いじめ防止対策推進法に基づいて、鳥取県内において、いじめの未然防止・早期発見・適切な対処のために、学校・家庭・地域をあげて取り組む理念や内容について示したものです。このたび国の基本的な方針が改定されることに合わせて、県方針の見直し(改定)を行っています。この方針は今後、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に配布されるとともに、各学校における学校いじめ防止基本方針の見直しや日々の学校生活の中においても生かされる基本的な考え方となります。

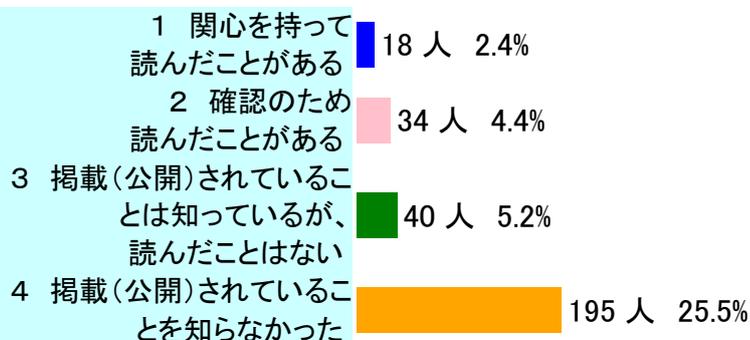
この改定案のポイントとなる次の事項等について、県政参画電子アンケート会員の皆様の意見をお伺いしました。

【問1】次の区分にあたる子ども(未成年の子)さんが居る方は、
該当の項目全てにチェックしてください。

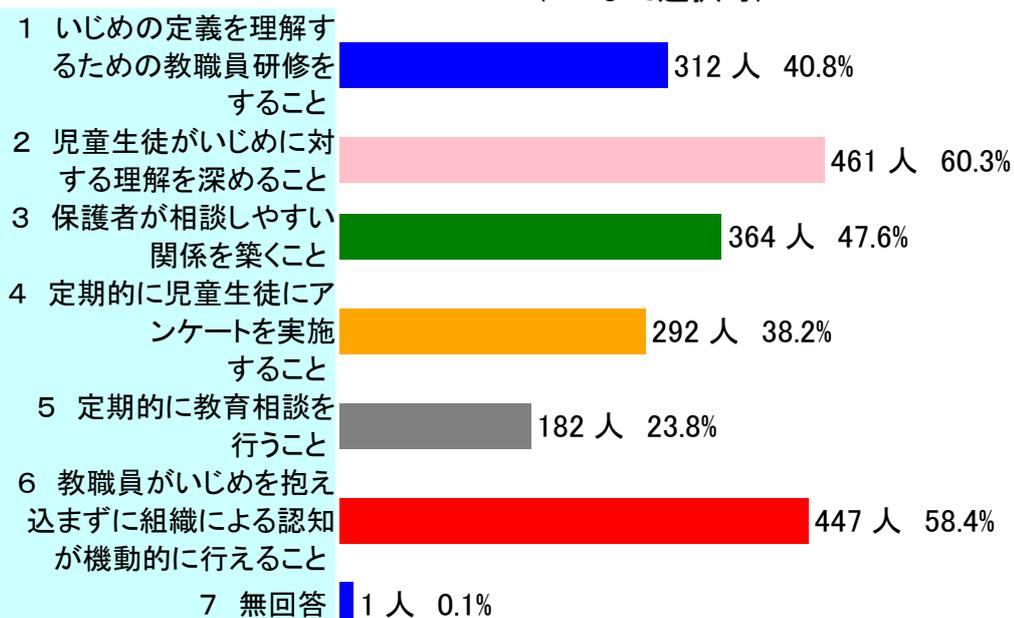


【問2】小中高の子どもさんが居られる方にお尋ねします。(回答数287名)
「学校いじめ防止基本方針」をご覧になったことがありますか。

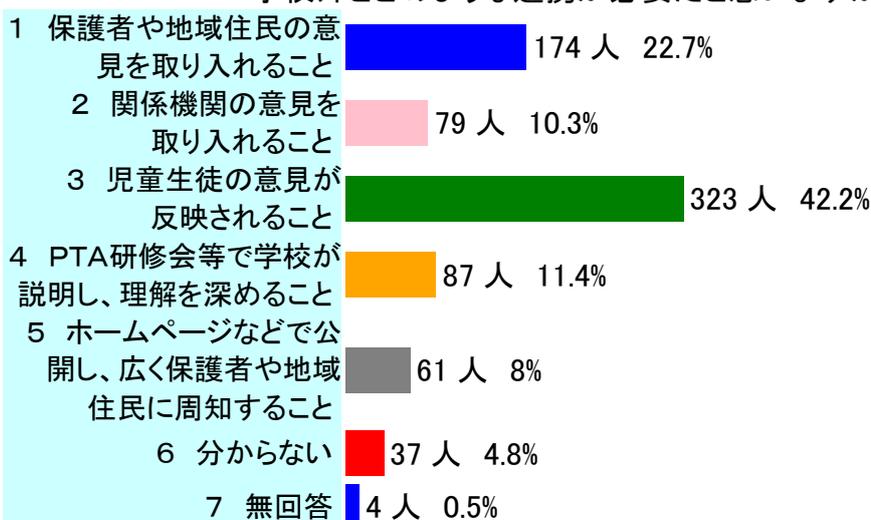
※各項目の率は全体(765名)に対する率



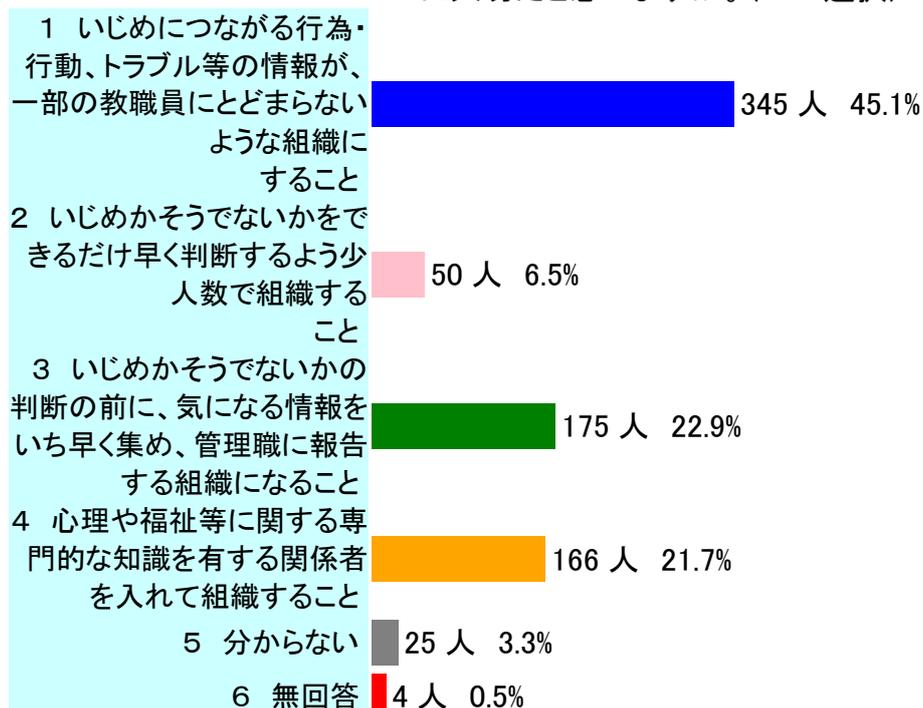
【問3】学校が積極的にいじめを認知するにはどのような体制や方法が必要だと思いますか。
(3つまで選択可)



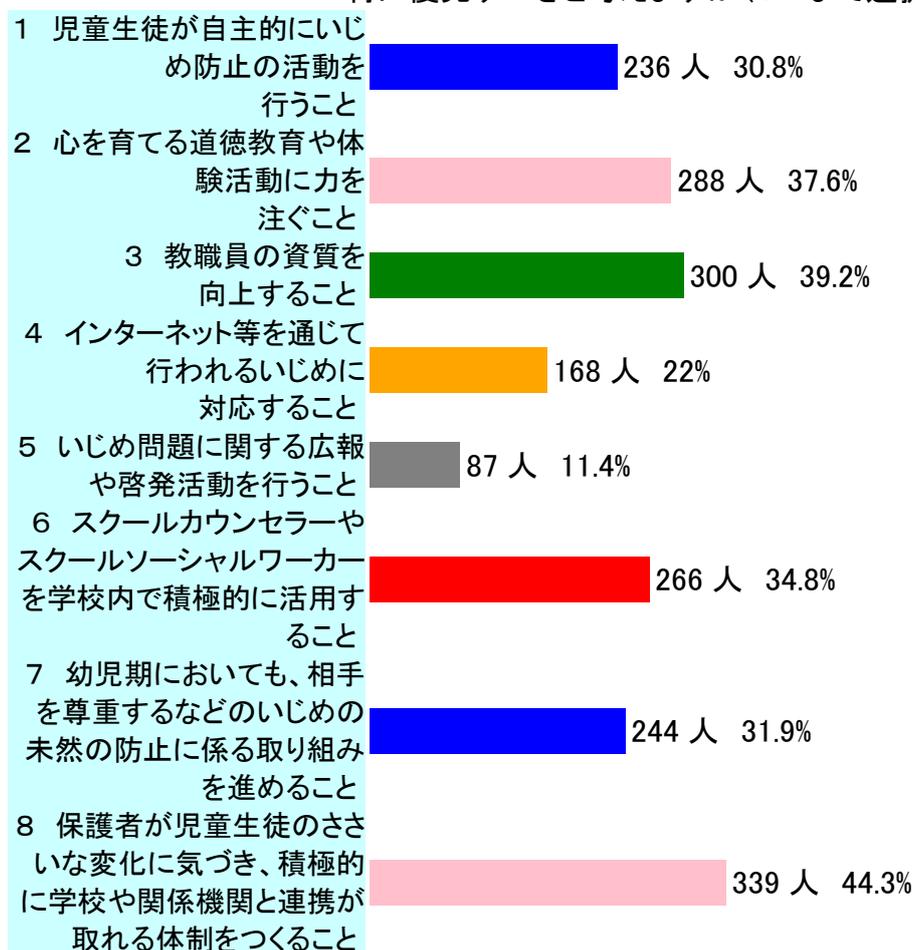
【問4】各学校の「学校いじめ防止基本方針」の見直しをする際に、学校外とどのような連携が必要だと思いますか。(一つ選択)



【問5】各学校において、「いじめの防止等の対策のための組織」を設置する際に、どんなことが特に大切だと思いますか。(一つ選択)



【問6】いじめの未然防止について、学校や教育委員会として、どんなことを特に優先すべきと考えますか(3つまで選択可)



- 9 いじめの背景にあるストレスや不安等の要因を取り除いたり軽減したりする学習に取り組むこと 180人 23.5%
- 10 無回答 3人 0.4%

【問7】いじめを早期発見するために、学校でどんなことを特に優先すべきと考えますか。
(3つまで選択可)

- 1 児童生徒に「記名式アンケート」を行うこと 93人 12.2%
- 2 児童生徒に「無記名式アンケート」を行うこと 491人 64.2%
- 3 担任が休憩時間に子どもと関わる余裕を持つこと 414人 54.1%
- 4 小さなトラブルであってもその日のうちに管理職まで報告が届くこと 388人 50.7%
- 5 定期的に時間をとって教育相談を行うこと 307人 40.1%
- 6 いじめの定義を理解するための教職員研修を実施すること 235人 30.7%
- 7 無回答 10人 1.3%

【問8】いじめの事案対処の際には、どんなことを優先すべきだと考えますか。
(3つまで選択可)

- 1 外部専門家(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、弁護士等)と連携すること 352人 46%
- 2 外部の相談窓口(開設されているいじめ相談窓口等)と連携すること 176人 23%
- 3 他の業務に優先して組織的な対応を行うこと 175人 22.9%
- 4 情報を適切に記録すること 239人 31.2%
- 5 いじめを受けた児童生徒とその保護者に対する支援をすること 403人 52.7%
- 6 いじめを行った児童生徒への指導とその保護者への助言を行うこと 334人 43.7%
- 7 いじめが起きた集団へ働きかけること 119人 15.6%
- 8 重大な被害が生じるおそれがあるときに、警察と連携すること 204人 26.7%

- 9 保護者からの申し立てへ対応すること 98人 12.8%
- 10 無回答 4人 0.5%

【問9】いじめの重大事態(いじめにより児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがある場合)への対処の際にはどんなことを特に優先すべきと考えますか。
(一つ選択)

- 1 いじめの原因や背景を明らかにすること 208人 27.2%
- 2 いじめを受けた児童生徒・保護者に適切なケアを行うこと 321人 42%
- 3 いじめを行った児童生徒・保護者に適切な指導や助言を行うこと 121人 15.8%
- 4 個人情報の取り扱いには十分配慮すること 37人 4.8%
- 5 再発防止策の検討を行うこと 54人 7.1%
- 6 分からない 22人 2.9%
- 7 無回答 2人 0.3%

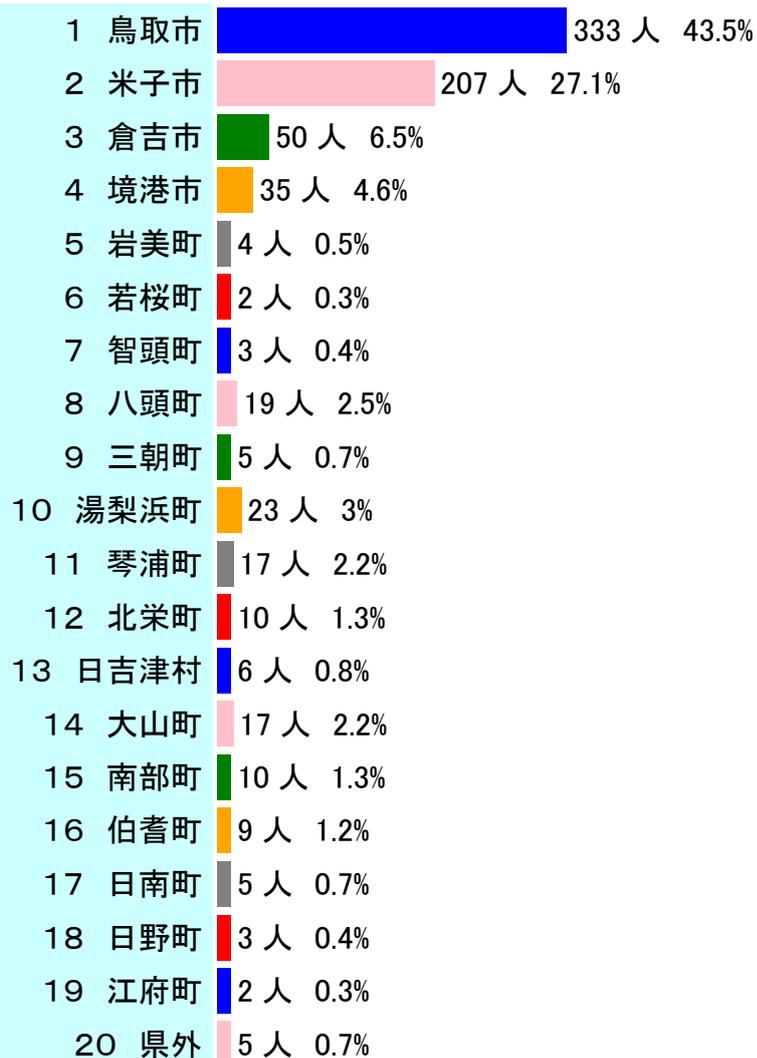
○性別

- 1 男性 325人 42.5%
- 2 女性 440人 57.5%

○年代

- 1 10歳代 28人 3.7%
- 2 20歳代 65人 8.5%
- 3 30歳代 153人 20%
- 4 40歳代 222人 29%
- 5 50歳代 155人 20.3%
- 6 60歳代 97人 12.7%
- 7 70歳代以上 45人 5.9%

○市町村



○地区

